子育てほんわかタイム
大切にしたいね、家族の会話

のへじの教育

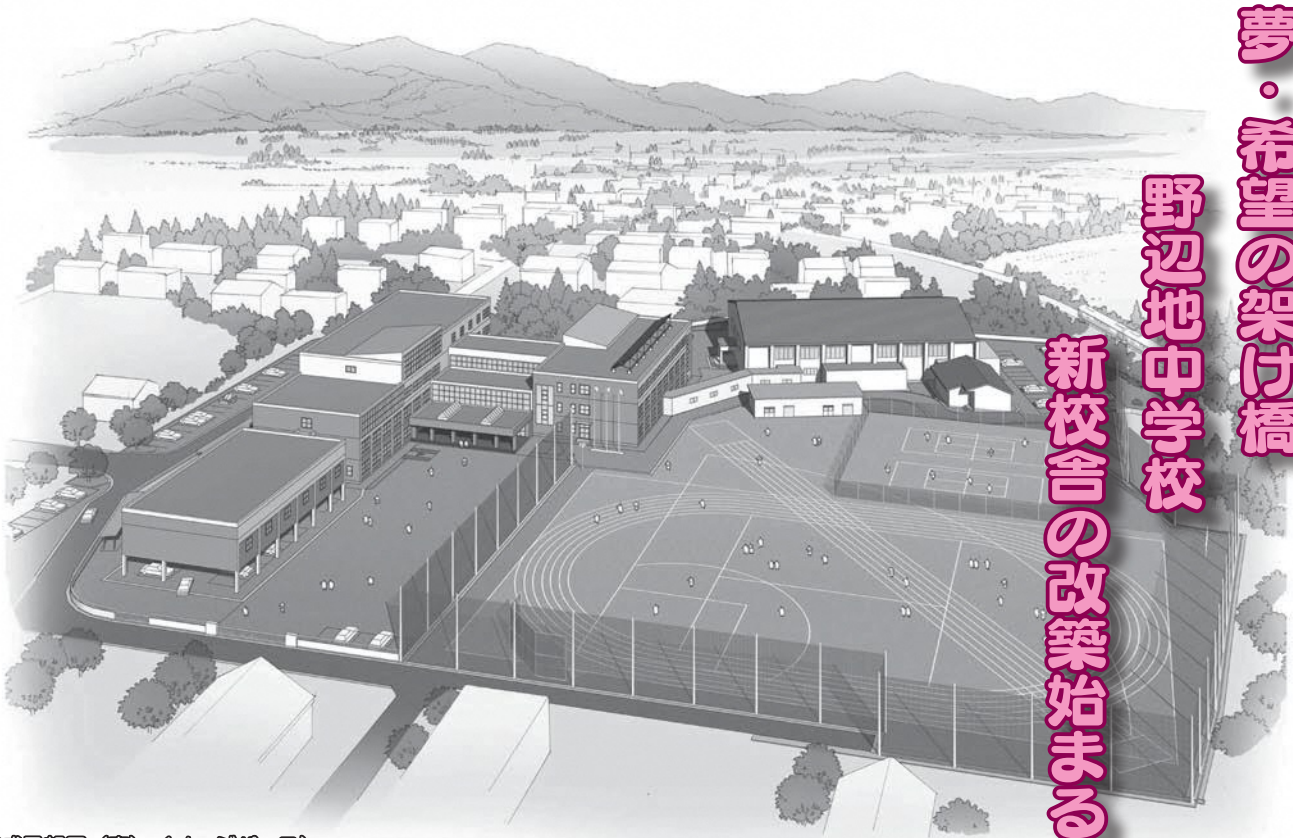
Contents

- 中学校改築について…… 1
- 教育ニュース…… 2、3、4
- お知らせ…… 5
- 子どもの文化、スポーツ活動紹介 …… 6

生き生き子ども！　温か家族！　はつらつ先生！　地域が支える野辺地の教育

発行／野辺地町教育委員会　Tel 0175-64-2119　fax 0175-64-4954

夢・希望の架け橋　野辺地中学校　新校舎の改築始まる



（完成予想図（案）イメージパース）

野辺地中学校改築計画の基本コンセプト

◆誰もが利用しやすく、管理しやすい学校
◆開かれた学習空間、コミュニケーションの場としての学校
◆安全・安心な学校
◆木材をふんだんに使用した、温かみのある学校

昨年から新校舎の工事が行われております。

現在は、杭工事を経て、基礎コンクリートなどの基礎工事が終了するところまできており、計画通り順調に推移しております。

春の足音とともに、いよいよ校舎一階から順次二階・三階・四階へと躯体工事に入ります。順調に工事が進めば、本年12月に新校舎が完成し、旧校舎から移転となります。平成26年には、現在の校舎を解体した後に武道場、校舎周辺等の外構並びにグラウンドの整備を行う計画です。尚、工事期間中は事故等に十分配慮してまいります。

また、現在野辺地中学校同窓会や保護者等が中心となり、敷地内にあった樹木の利活用を図るため、専門職の方を招聘し、子どもたちや保護者、地域の方々の御協力を得て、改築記念モニュメント制作事業の計画が進んでおります。詳細が決まりしだい、広報のへじ等でお知らせいたしますので御協力いただきたいと思います。

今後、より一層子どもや町民に愛される野辺地中学校建築を目指してまいります。

平成24年度　野辺地町短歌・俳句・川柳コンテスト　大賞作品紹介

―1年間の実施行事報告―

お帰りなさい　板状立脚土偶　国重要文化財指定セレモニー

5月31日、野辺地町歴史民俗資料館において、板状立脚土偶国重要文化財指定セレモニーを開催いたしました。

東京国立博物館での展示を終えて、野辺地町に帰ってきた板状立脚土偶を歓迎するために町長はじめ、町関係者や児童らがセレモニーに参加しました。

また、参加した児童は、粘土で土偶作りを体験しました。

国重要文化財に指定された板状立脚土偶は、現在歴史民俗資料館にて常設展示されておりますので、ぜひ一度見学に訪れてください。

板状立脚土偶をつくる児童たち

ふれあい通学合宿

中央公民館に宿泊しながら学校へ通う「ふれあい通学合宿」を、9月13日から15日までの3日間行いました。

通学合宿には町内の各小学校から5・6年生が13名参加。

子どもたちは学校が終わった後公民館に集まり、協力して食事を調理したり、銭湯で入浴。また、「STUDIO. CLOUD」代表の駒井慎也さんを講師として招きダンス体験も行いました。

宿題の時間では互いに勉強を教えあったり、学校の様子を紹介しあうなど団体生活をとおして交流を深めていました。

協力して調理する参加児童

特別展『明治天皇奥羽御巡幸と野辺地』

国登録有形文化財である旧野村家住宅離れ（行在所）の改修完了を記念した特別展を、8月28日から9月9日まで行在所、歴史民俗資料館の2会場にて開催し、約千名の来館者が訪れました。

第1会場の行在所では、野村家の子孫で10代目の野村治宣さんより寄贈された明治天皇下賜の「御紋章入銀杯三重」や、明治天皇に謁見する6代目野村治三郎の様子を表した実物大模型などが展示され、第2会場である歴史民俗資料館では、奥羽巡幸の錦絵や県内の巡幸経路図、ゆかりの人物にまつわる史料を展示し、明治天皇と野辺地町の係わりについて紹介しました。

展示史料を見る来場者

ハッチョウトンボ観察会

7月8日、まかど温泉スキー場あったかハウス前において、ハッチョウトンボ観察会を開催し、町内外から約60名が参加しました。

講師に青森県トンボ研究会の奈良岡弘治会長をお招きし、参加者へハッチョウトンボの生態や、他に見られるトンボについて説明しました。また、参加者は用意された野辺地特産のこかぶやキュウリに八丁味噌を付け、食も楽しみました。

ハッチョウトンボは、日本一小さいトンボであり、1円玉ほどの大きさのトンボです。低湿地で水量が豊富な限られた環境にしか生息できないため、著しく数を減らしており、絶滅が危惧されています。最も観察できるピークは7月上旬から8月中旬までとなっています。

ハッチョウトンボを探す参加者たち

平成24年度野辺地町短歌・俳句・川柳コンテスト

コンテスト入賞者

改修された行在所

第3回ふれあい教育の日フェスティバル「題名のある音楽会」

10月20日、野辺地小学校講堂にて「第3回ふれあい教育の日フェスティバル」を開催しました。「コラボによる題名のある音楽会」と題して野辺地中学校と野辺地高等学校の両吹奏楽部59名が共演。心を一つにした演奏を披露し、約250名の来場者を魅了しました。

野辺地町では、毎月20日をふれあい教育の日と定め、毎年「ふれあい教育の日フェスティバル」を開催しています。今回は中学校と高校生が音楽を通して、文化交流を深めることを目的として実施しました。

第一部では両吹奏楽部による共演を行い、「ウルトラマン伝説」や「鉄腕アトム」の主題歌などゲストにゆかりのある曲目を演奏。特別ゲストの読売巨人軍の元応援音楽隊長でトランペット奏者の渡辺正典さんも加わり、生徒たちと息の合った力強い音色を響かせ、会場から大きな拍手が送られました。

第二部では渡辺さんと、当町出身の映画・音楽・演劇プロデューサーの大山禮二さん、同じく当町出身のソプラノ歌手の黒木庸子さん、中谷町長によるトークショーを開催。絆・縁をテーマにトークを行い、大山さんは自身の経験を交えながら「今まで築いてきた絆・縁を大事にしてほしい。どこへいっても、必ず絆は繋がっている」と生徒たちへ語りました。

生徒とコラボする特別ゲスト・渡辺さん

野辺地中学校・野辺地高校による共演

めざせ！ライブラリアン 第2期子ども司書養成講座

読書の楽しさや素晴らしさを広める子どもの読書推進リーダーを養成することを目的とし、「第2期子ども司書養成講座」を昨年の7月から今年の1月まで全10回開催しました。講座には町内の小中学生9名が参加し、司書の基礎知識や専門技術を学びました。

講座内容は、本の分類やレファレンス、カウンター体験、製本、読み聞かせ、野辺地の歴史学習、図書検索、青森県立図書館見学などです。講師は、図書館司書と町内の専門知識や技術をお持ちの方にもお願いしました。

子ども達は、「色々なことを学んだり、教えてもらったので、とても楽しかった。来年もやりたい」との感想を述べていました。

閉講式では、古田教育長から全員に子ども司書の認定書が手渡され、「本を読むことは、心の栄養になるので、これからも本や新聞を読み続けて下さい」との挨拶があり、子ども達は意欲を新たにしました。

県立図書館を見学する子ども司書たち

閉講式

小学校適正規模配置計画 検討委員会　設置

町では、児童数の減少、校舎等の老朽化が著しい中で、今後安心して子どもたちを育てることができる教育環境の整備を図ることを目的として、野辺地町の小学校の適正規模・適正配置を検討するため検討委員会を設置しました。

学校長、自治会関係者、保護者や学識関係者等21名を委員へ委嘱し、各関係者から意見を拝聴し、それらを踏まえた考えを基本方針として策定します。今後、現状について、小学校の歴史と子どもたちを取り巻く環境、野辺地町の望ましい学校規模について等を検討委員会で話し合い、意見を取りまとめ、意見書を提出する予定です。

意見交換をする委員たち

短　歌

（小学生の部）キャンプはね　知らない人が　いるけれど　一度会ったら　もう友達だ　若葉小6年　上原子野亜

（中学生の部）また明日　手を振る君に　笑う僕　早く明日に　なってほしいな　野辺地中2年　上原子蘭

（一般の部）親友の　訃報聞き終え　電話機の　コードの捩れ　ただただ解す　下袋町　山田　摂

俳句

（小学生の部）友達の　麦わらぼうし　ひらひらと
（中学生の部）波しぶき　友と走った　夏の浜
（一般の部）つばめ舞う　襷をつなぐ　友の上

若葉小4年　中嶋　咲夢
野辺地中3年　篠田　信緯
馬門　亀田　生子

続けスキーの町 NOHEJI　夏季ジュニア育成スキー講習会・歩くスキーフェスティバル

夏季ジュニア育成スキー指導講習会

9月8日・9日の両日、柴崎観光牧場周辺にて、クロスカントリースキーで冬季オリンピックに3大会連続出場した、夏見円さんを招いて「夏季ジュニア育成スキー指導講習会」を開催しました。青森県内から小・中・高校生約150名が参加し、夏見さんからトレーニング法を熱心に学んでいました。

トレーニングは牧場の斜面を活用し、体幹を鍛える運動や、ストックを使って安定したフォームをつくるための運動に重点をおいて行われました。

夏見さんの「試合でどんな状況でも力を出せるように、練習の一つ一つに全力で挑むように」というアドバイスに、参加者は夏見さんと一緒に汗を流し、スキーの上達を目指していました。

熱心に指導する夏見さん

参加者とふれあう荻原さん

歩くスキーフェスティバル

クロスカントリースキーの魅力をより多くの人に伝えようと、2月2日・3日の両日、「キング・オブ・スキー」の異名を取るオリンピック金メダリストの荻原健司氏を招き講演会やフェスティバルを行いました。

2日はまかど温泉ホテルにおいて講演会を行い、「夢をかなえる」の演題で、オリンピックに出場するまでの経験や夢を持つこと、考えることの大切さなどを講演。荻原さんはこれまでのスキー人生を「悔しい気持ちの方が多かったが、逃げずに挑戦し続けたことが五輪につながった」と振り返り、「日頃から目標を持ち続け、夢を叶える為に頑張ってほしい」と参加者へアドバイスを送りました。

3日は、まかど温泉スキー場クロスカントリーコースにおいて歩くスキーフェスティバルを開催し、町内外から約130名の参加がありました。

荻原さんは、参加者のレベルにあわせて野辺地スキークラブの方々と一緒に指導を行い、見本を示しながら参加者とコースを歩きました。また、小・中学生に「クロスカントリースキーを続けていれば、絶対五輪に繋がる。目標を立てて頑張って」とエールを送りました。

歩くスキーフェスティバル

第2回野辺地町民スポーツ交流会

1月27日、町立体育館において第2回町民スポーツ交流会を開催しました。

今年はトランポリン、バウンドテニスが行われ、参加者は「難しかったが楽しかった」などと感想を述べていました。

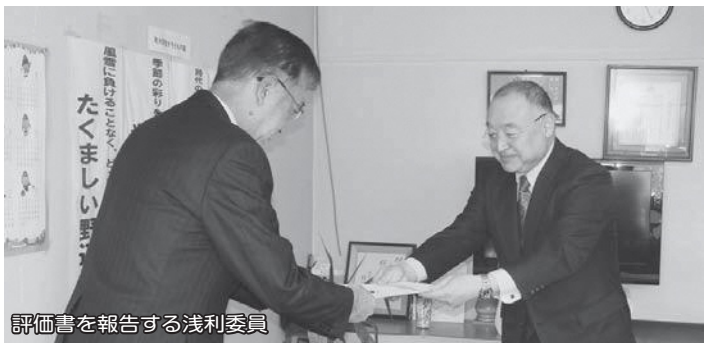
バウンドテニスを楽しむ参加者たち

事務評価委員会議

平成23年度の教育に関する事務を、野辺地教育施策の方針と照らし合わせ適切に実施されているか、学識経験者の知見を活用し、点検及び評価を行いました。

学識経験者5名を委員に委嘱し、年5回の会議を実施。内容は、教育委員会組織、学校教育、社会教育行政、文化財保護行政、社会体育行政の125項目を点検・評価し、報告書を作成しました。

報告書は、議会に提出し野辺地町役場のホームページに掲載します。今後教育委員会の事業課題について、より効果的な実施方法や見直し等について検討してまいります。


評価書を報告する浅利委員

川　柳

（小学生の部）友達は　へこんだときの　助けぶね
（中学生の部）「やめろよ」と　いじめをとめる　友の声
（一般の部）人生の　喜怒哀楽に　友がいる

若葉小5年　中山　元
野辺地中2年　小松　正和
中袋町　横浜　康子

― 教育委員会からのお知らせ ―

＊スクールカウンセラー相談事業＊

野辺地中学校に、月２日臨床心理に関して高度で専門的な知識を有したカウンセラーを配置しております。

児童生徒の問題行動やいじめ、不登校などの諸問題を解決するため、児童・保護者・生徒の相談を受け付けています。

小学生・保護者・中学生は野辺地中学校へお申し込みください。

※相談内容について、秘密は厳守いたします。

＊学校支援センターについて＊

教育活動を安全によりきめ細やかに行うために、各小・中学校で学校支援ボランティアを募集しています。

①水泳・スキー指導・版画・ダンス・郷土芸能・調理・昔遊び・ミシン指導等
②丸つけ・図書の整備・校内校外環境整備他

保護者以外の地域の方も募集をしていますので、お気軽にお問い合わせください。

※お申し込みは、各学校コーディネーターまたは教育委員会（64－2119）へ。

＊あるく・みる・なっとく ～野辺地の自然と文化～発行＊

野辺地町の自然、文化財などをわかりやすく紹介した『あるく・みる・なっとく　野辺地の自然と文化』を発行しました。

野辺地町の文化財マップ・町の歴史についてわかりやすく説明され写真も多く掲載されており、どなたでも気軽に読める内容となっております。

本書は、図書館、歴史民俗資料館、公民館などで読むことができます。700円で販売しておりましたが現在は完売しており５月に再販予定です。

お問い合わせは、歴史民俗資料館（64－9494）まで。

＊緊急メール配信を実施しています＊

町内小中学校と３保育園では、７月から緊急連絡や不審者等の情報をいち早くお知らせする「緊急メール」配信事業を行っております。今年度は、強風での登校時間変更連絡、スキー大会の中止などの連絡が配信されました。

来年度からは、高校も加わり全部で９ヶ所の学校･保育園等で緊急メール配信を予定しています。

緊急メール事業は、登録した保護者の携帯電話に、緊急時の登下校の方法や行事連絡等をメール配信するシステム。メールアドレスをお持ちで未登録の方は、ご登録をご検討ください。

◆使っていない雑巾・タオル募集中◆

各学校では雑巾が不足しています。フェイスタオル、バスタオル、縫った雑巾等家庭で眠っている物や古くなったタオル等を集めています。御協力いただける方は、中央公民館事務室まで届けていただければ、各学校に配分します。地域の皆様のご協力・応援をお待ちしております！

お問い合わせ：学校支援センター
教育委員会（64－2119）

＊朗読の会「秋桜」全国優良読書グループ受賞＊

図書館サークル・朗読の会「秋桜」が、社団法人読書推進運動協議会から「全国優良読書グループ」を受賞しました。

「秋桜」は平成７年に発足してから現在まで、町内の保育園や小学校などで読み聞かせのボランティア活動をしているほか、一般対象の「朗読のつどい」を開くなど意欲的に活動しています。

受賞を受けたことについて白戸代表は、「小さなグループの地味な活動を評価していただいて、ありがたく思っております。今後も楽しみながら活動を続けたいと思っています」と話していました。

朗読の会「秋桜」のみなさん

子ども会　入会募集

子ども会名	育成会代表者	
下町一区子ども会	村木亜弓	64-2670
D51（駅前）子ども会	木村正代	64-0575
城内子ども会	久保田えり子	64-5440
新町・八幡町子ども会	大杉輝昭	64-6942
浜町子ども会	野坂源司	64-4729
新道子ども会	高野早苗	64-3026
金沢町子ども会	甲斐稔信	64-7384
下袋町子ども会	小塚直毅	64-3126
馬門子ども会	仲﨑支朗	73-1141

■主な活動　①のへじ祇園まつり参加　②ラジオ体操
③各種お楽しみ会　④夏季キャンプ

■その他　1）子ども会への入会は強制ではありません。
2）後日、学校を通して申込書が配布されます。
3）住んでいる地区に子ども会がなく、入会を希望される方は、町教育委員会（℡64－2111）へご相談ください。

スポーツ少年団　団員募集

（スポーツは友達！みんなで少年団の仲間になろう）

少年団名	連絡先
ハンドボールスポーツ少年団	滝口　太　64-2111（役場）
サッカースポーツ少年団	橋本正克　64-1770（健康増進センター）
柔道スポーツ少年団	横浜信弥　64-2225（野辺地中学校）
ジュニアバドミントンスポーツ少年団	滝澤完至　64-2706（自宅）
ミニバスケットボールスポーツ少年団	甲地潮吏　64-2272（野辺地小学校）
剣道スポーツ少年団	木明裕二　64-2111（役場）
野球スポーツ少年団	野呂信幸　64-2111（役場）
マラソンスポーツ少年団	若山弘一　64-2774（若山燃料）
卓球スポーツ少年団	松尾節男　64-1770（健康増進センター）
体操スポーツ少年団	酒田綾子　64-4692（自宅）
野辺地サッカークラブU－12	川畑正人　64-2111（役場）

文化少年団　団員募集

■対　　象　小学生（版画・陶芸は２年生から）
■活動期間　６月～12月
■活動場所　中央公民館（陶芸少年団は、愛宕コミセン）
■申し込み　５月24日（金）までに中央公民館（64－3054）
結団式は、６月８日（土）午前９時から、行います。

少年団名	活動日・時間	活動費
子ども将棋少年団	第２・４土曜日 9:00 ～	1,000円
料理少年団	第２土曜日 9:30 ～	2,000円
茶道少年団	第２土曜日 9:30 ～	2,000円
版画少年団	第２・４土曜日 14:00 ～	2,000円
陶芸少年団	第１・３土曜日 13:00 ～	2,000円
郷土カルタと百人一首を楽しむ会	第２・４土曜日 13:00 ～	1,000円

ボーイスカウト　入隊員募集

○ボーイスカウトはインターナショナル
世界のさまざまな国の人々と友だちになれるというのが、スカウト活動の魅力です。とにかく地球規模のワイドな活動です。世界の隅々でスカウトたちは活躍しています。

○年齢別のグループで活動しています

部　　門	年　　齢
ビーバースカウト	小学校１年生の就学直前９月から
カブスカウト	小学校２年生の９月から
ボーイスカウト	小学校５年生の９月から
ベンチャースカウト	中学校３年生の９月から
ローバースカウト	18歳以上

○野外活動を中心に、いろいろなことを学びます
野外活動を通して、自然を学び、友情や協調の精神を育てることが中心です。

○保護者の皆様へ
①指導者もしっかり育成しています。
②必要最低限の費用で参加できます。

＜申し込み・問合せ先＞　高野薬局（64－3359）

編集後記

現代社会、子どもを取り巻く社会環境は、いじめ問題、教師による体罰等で尊い命を失う悲しい事件が起きており、教育に携わる者として、将来を担う子どもたちの教育環境を再構築していかなければならないと痛切に感じております。又、国においては学校週五日制の見直しや、義務教育九年、高校教育三年制など学制の見直しなどについて大きな改革が叫ばれております。このような現況化のもと、学校現場や教育行政のあるべき姿などが問いかけられております。

一方わが町に目を向けますと、中学校新改築事業や校舎の耐震化問題、少子化が進む中で将来の小学校の適正な規模、配置についての検討など、大きな教育の潮流が渦巻いております。正に、「教育改革元年」として教育課題が山積しております。このような中、今後尚一層開かれた教育行政、スピード感を持った課題解決、行動する教育行政を推進して参りますので、これまで同様御指導御協力をお願いいたします。

四月一日
野辺地町教育委員会
教育長　古田力也

次号教育広報は、平成25年度に実施した事業報告を掲載し発刊の予定です。